

平成26年9月期 決算説明資料

(平成25年10月1日 ~ 平成26年9月30日)

平成26年11月13日

ひとを大切に。自然を大切に。

ホウライ株式会社



目次 ~ CONTENTS

1. 平成26年9月期決算概要

1-1 業績サマリー	1
1-2 営業収益の実績	2
1-3 営業総利益の実績	3
1-4 事業部門別実績	4
1-5 営業利益・経常利益・当期純利益の実績推移	7
1-6 キャッシュ・フロー	8

2. 平成27年9月期業務計画概要

2-1 業績予想サマリー	9
2-2 平成27年9月期計画(グラフ) (営業収益・営業利益・経常利益・当期純利益)	10
2-3 事業部門別施策	11
(ご参考)主要な経営指標等(実績)の推移	12
(ご参考)事業内容のご紹介	13
お問い合わせ先	14

本資料の見通し(予想値)は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため 実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な要因により、予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

1-1 平成26年9月期 業績サマリー

(単位: 百万円)

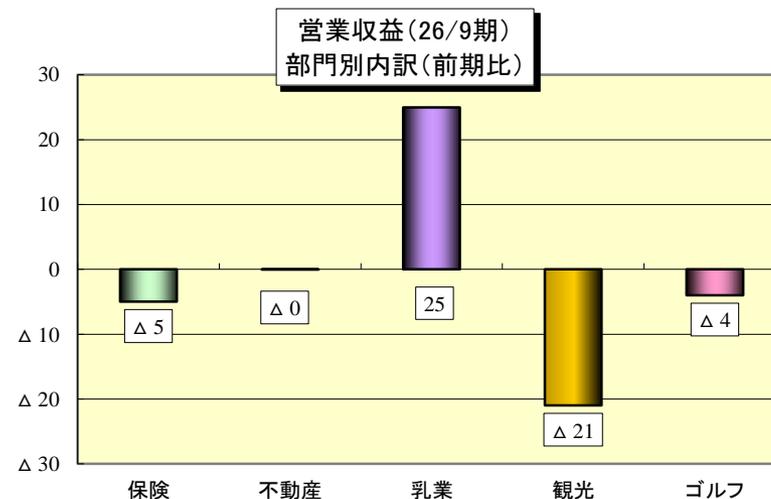
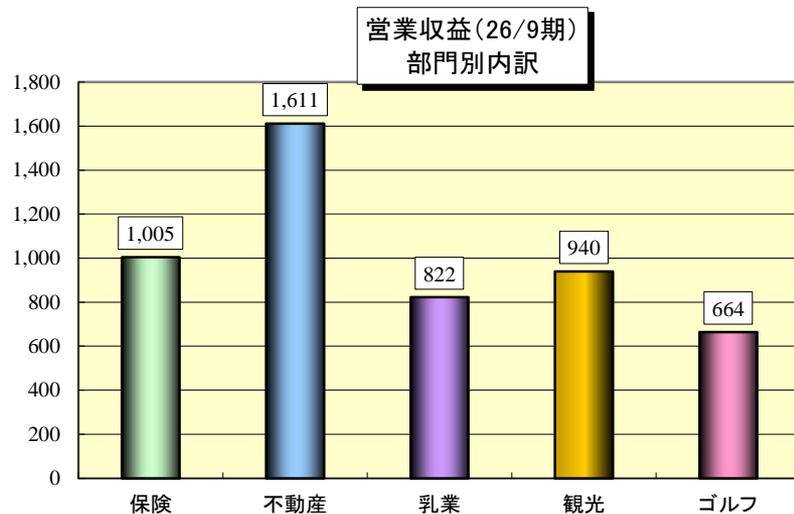
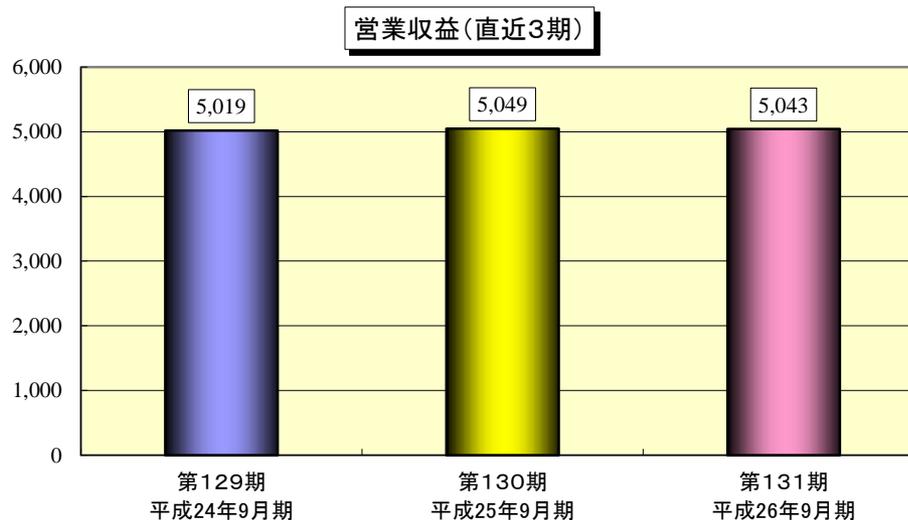
	第130期実績 (平成25年9月期) ①	第131期実績 (平成26年9月期) ②	前期比 ②-①	増減率(%) ②/①	コメント
営業収益	5,049	5,043	△ 5	△0.1%	A
営業利益	270	259	△ 11	△4.2%	B
経常利益	1,035	821	△ 214	△20.7%	C
当期純利益	782	630	△ 152	△19.4%	D

A	各事業がそれぞれの特性に応じた施策の展開に努め、利益水準の回復を目指しました。営業収益は、乳業事業は前期を上回りましたが、その他の各事業は前期を下回り、全体では前期比減収となりました。
B	営業原価は、保険、不動産、ゴルフの各事業が前期を下回りましたが全体では前期を上回りました。一般管理費は前期を下回りましたが、減収・原価増をカバーするまでには至らず、営業利益は前期比減益となりました。
C	経常利益は、ゴルフ会員権の消却益507百万円(前期比273百万円減)等により821百万円(前期比214百万円減)となりました。
D	風評被害等に対する東京電力株式会社からの補償金124百万円を特別利益に計上し、当期純利益は630百万円(前期比152百万円減)となりました。

1-2 平成26年9月期 営業収益の実績

(単位:百万円)

■ 営業収益の推移

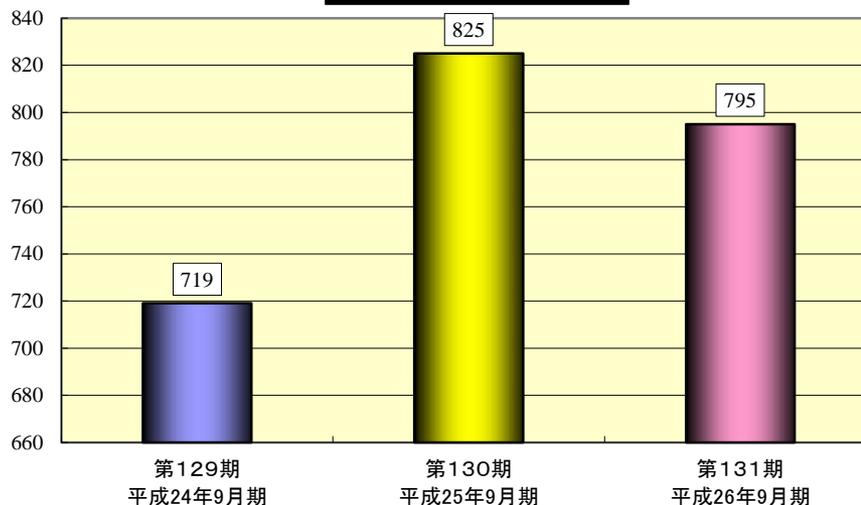


1-3 平成26年9月期 営業総利益の実績

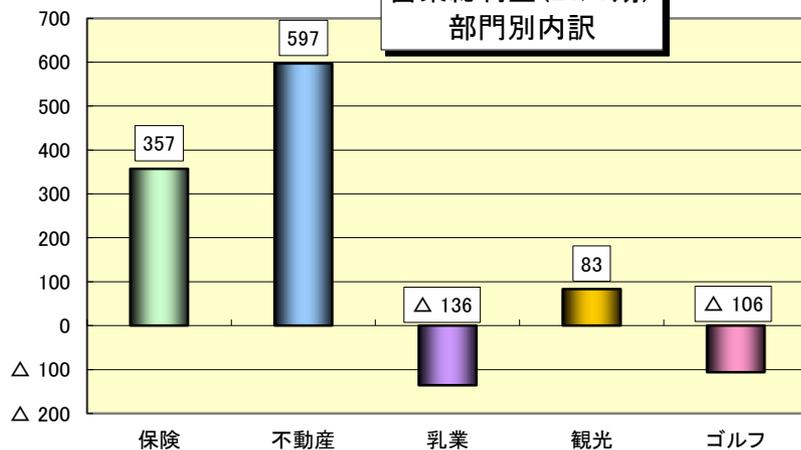
(単位:百万円)

■ 営業総利益の推移

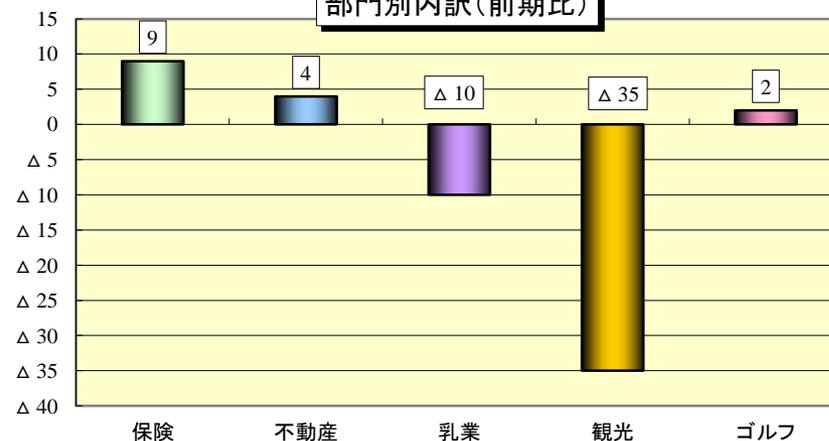
営業総利益(直近3期)



営業総利益(26/9期)
部門別内訳



営業総利益(26/9期)
部門別内訳(前期比)

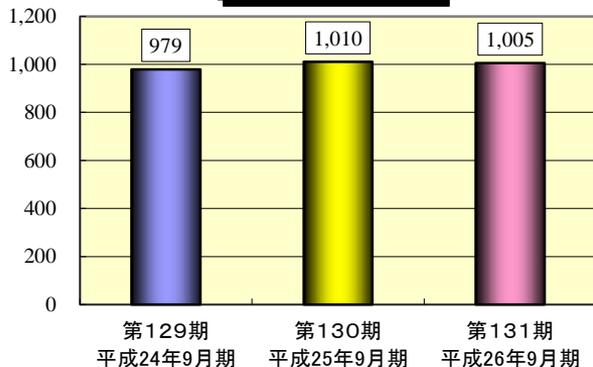


1-4 平成26年9月期 事業部門別実績(その1)

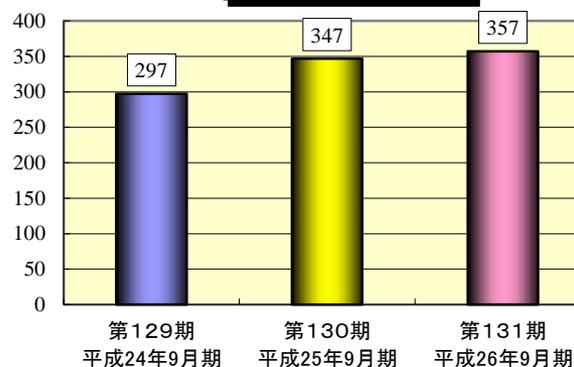
(単位:百万円)

1. 保険事業:営業収益及び営業総利益

保険事業
営業収益(直近3期)



保険事業
営業総利益(直近3期)

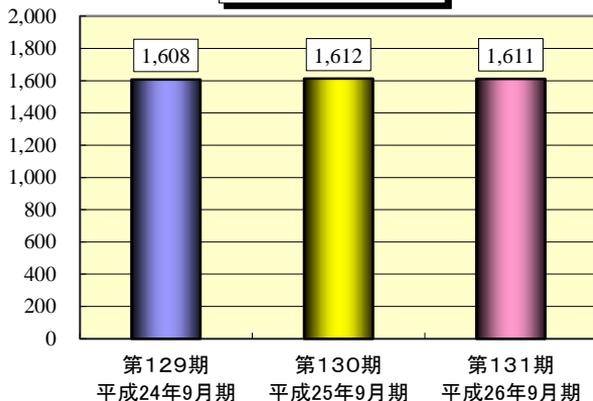


損害保険分野は、前期獲得の長期保険の反落を更改契約の高付加価値化等でカバーし前期を上回りましたが、生命保険分野は、第三分野の減収を主因に前期を下回り、営業収益は1,005百万円(前期比5百万円減)となりました。

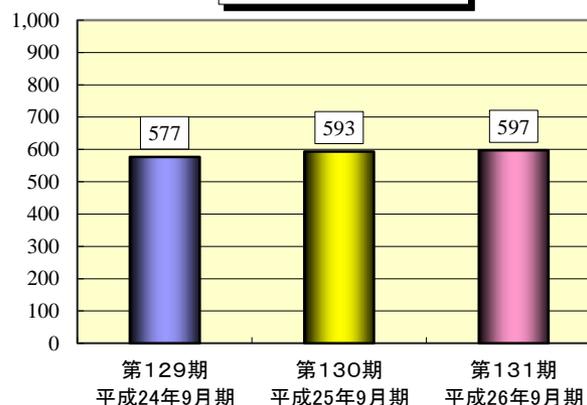
効率的な業務運営に努めた結果人件費が前期を下回ったことを主因に営業原価は前期比減少し、営業利益は357百万円(前期比9百万円増)となりました。

2. 不動産事業:営業収益及び営業総利益

不動産事業
営業収益(直近3期)



不動産事業
営業総利益(直近3期)



銀座ホウライビル、新宿ホウライビルは新規入居等により賃貸収入は前期を上回りましたが、さくら堀留ビルは前期退室の後継テナント入居に時間を要し賃貸収入は前期を下回ったことから、営業収益は1,611百万円(前期比1百万円減)となりました。

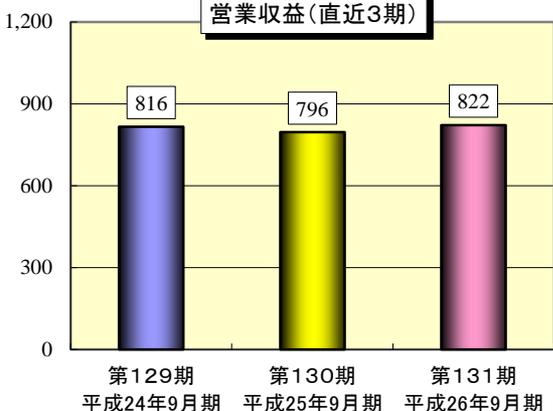
水道光熱費の増加や、池袋室町ビル、銀座ホウライビルのビルグレード向上のための改修工事等を主因として修繕費は増加しましたが、減価償却費の減少等により営業原価は前期比減少し、営業利益は597百万円(前期比4百万円増)となりました。

1-4 平成26年9月期 事業部門別実績(その2)

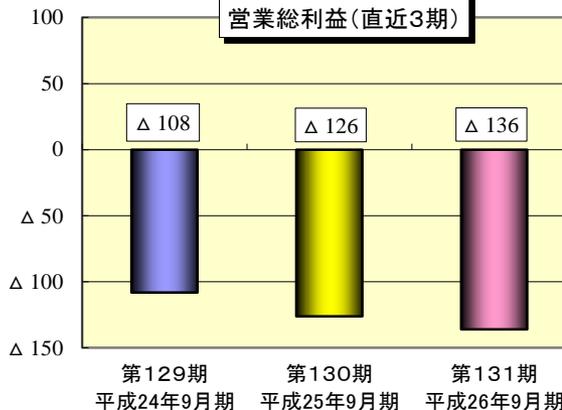
(単位: 百万円)

3. 乳業事業: 営業収益及び営業総利益

乳業事業
営業収益(直近3期)



乳業事業
営業総利益(直近3期)



ヨーグルトは新商品「豊潤」**「贅沢クリームヨーグルト」**の寄与等により、ギフトとともに売上は前期を上回り、仕入れ商品、生乳の増収とも相俟って、牛乳、アイスの減収をカバーし、営業収益は822百万円(前期比25百万円増)となりました。

製造原価は前期比減少しましたが、新商品の広告宣伝費、増収に伴う運賃等の経費増や仕入原価増を主因に営業原価は前期比増加し、営業損失は136百万円(前期比10百万円の悪化)となりました。



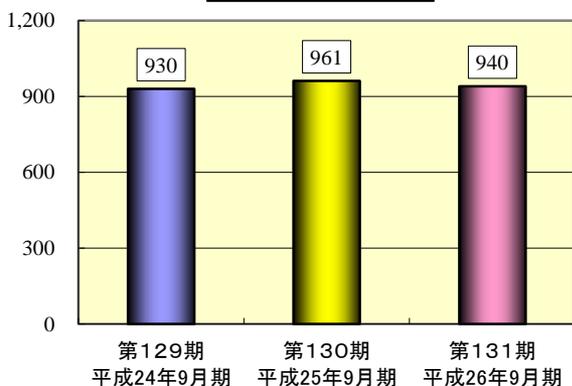
生乳が織り成す贅沢な味わいを
新鮮なまま直にお届けします。

4つの特徴とこだわり

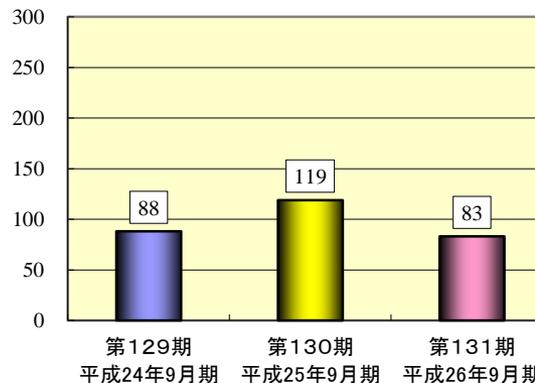
- 1 生乳100%だけのおいしさ
- 2 やわらかでめらかな食感
- 3 酸味を抑えたらやかな味わい
- 4 こだわりの4種類の乳酸菌

4. 観光事業: 営業収益及び営業総利益

観光事業
営業収益(直近3期)



観光事業
営業総利益(直近3期)



恒例となりました「那須野ヶ原うんまいもんフェスティバル」の開催や「巨大トウモロコシ迷路」の拡充に加え、体験参加型アトラクション「リアル宝探し」、開業当時を再現した屋外「レトロバーベキュー」等の新企画施設の充実を図り好評を得ましたが、天候不順(特に休日)の影響等もあり来場者数は前期を下回りました。

営業収益は、売店の売上減少を主因に940百万円(前期比21百万円減)、営業原価は、施設のリニューアルに伴う修繕費や、新企画導入のための販促費の増加等を主因に前期を上回り、営業利益は83百万円(前期比35百万円減)となりました。

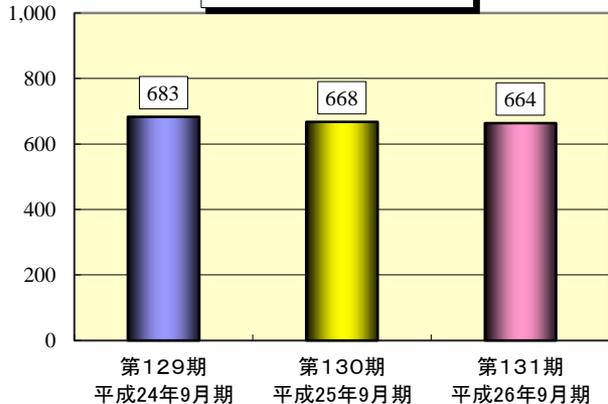


1-4 平成26年9月期 事業部門別実績(その3)

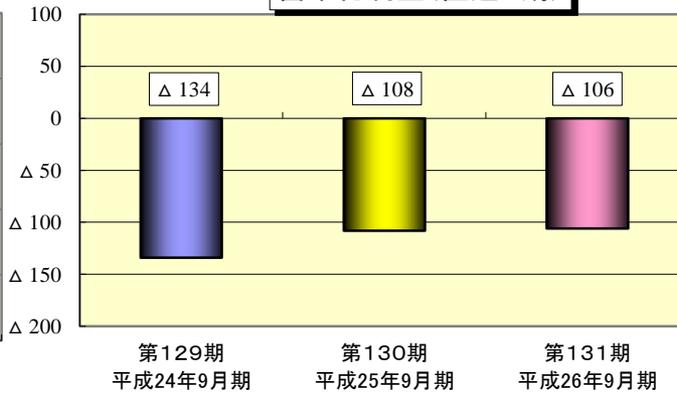
(単位:百万円)

5. ゴルフ事業: 営業収益及び営業総利益

ゴルフ事業
営業収益(直近3期)



ゴルフ事業
営業総利益(直近3期)



HPからのプレー予約開始や宿泊パックの充実等を図るとともに、コンペ誘致のチャネル開拓等に努める一方、予約システム・設備の更新等グレードの向上と効率運営に取り組みました。

プレー単価は前期を上回りましたが、天候影響等もあり来場客は前期を下回り、営業収益は664百万円(前期比4百万円減)となりました。

営業原価は、人件費の減少を主因に前期を下回り、営業損失は106百万円(前期比2百万円の改善)となりました。



24H 予約可能

オンライン予約

オンライン予約、導入しました!
ホームページ限定特別プランを公開中!!

平日1人エントリー受付中!

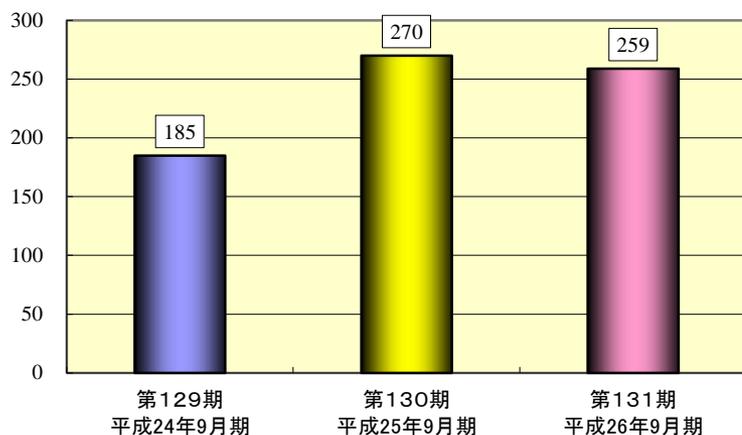
お1人でご予約した方が
プレーできる組合せ予約です!!



1-5 営業利益・経常利益・当期純利益の実績推移

1. 営業利益

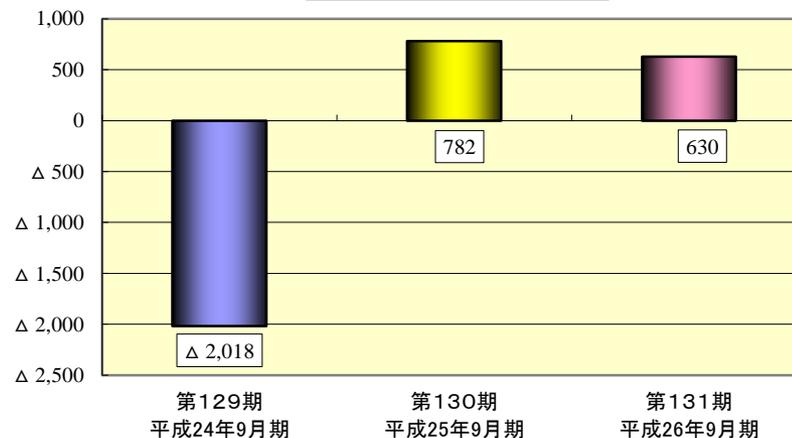
営業利益(直近3期)



3. 当期純利益

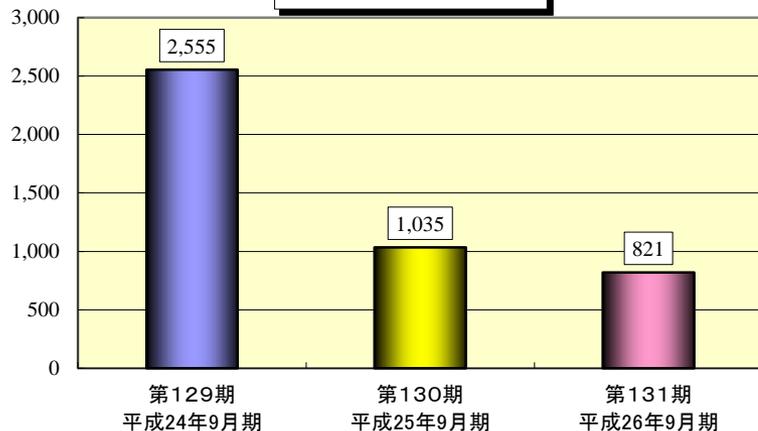
(単位:百万円)

当期純利益(直近3期)



2. 経常利益

経常利益(直近3期)



1-6 平成26年9月期 キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	第130期実績 (平成25年9月期) ①	第131期実績 (平成26年9月期) ②	前期比 ②-①
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 922	932	1,855
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 135	371	506
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 428	△ 448	△ 20
現金及び現金同等物 期末残高	1,347	2,202	855



営業活動による キャッシュ・フロー	税引前当期純利益931百万円を主因に932百万円の収入(前期は922百万円の支出)となりました。
投資活動による キャッシュ・フロー	有形固定資産の取得264百万円等の支出がありましたが、保険積立金の払戻626百万円の収入等を主因に371百万円の収入(前期は135百万円の支出)となりました。
財務活動による キャッシュ・フロー	ゴルフ会員権買取269百万円、社債の償還98百万円、配当金の支払い69百万円等を主因に448百万円の支出(前期は428百万円の支出)となりました。

2-1 平成27年9月期の業績予想サマリー

	前期実績 (平成26年9月期) ①	今期計画 (平成27年9月期) ②	前期比 ②-①
営業収益	5,043	5,500	456
営業利益	259	300	40
経常利益	821	910	88
当期純利益	630	600	△ 30



景気の回復基調を受け、当社業績も全体としては上向きの兆しが見られつつありますが、乳業・ゴルフ事業は未だ業績改善途上にあり、また今後の景気動向等も不透明感が払拭できない等当社の各事業を取り巻く環境は引き続き厳しいものがございます。当社といたしましては、各事業がそれぞれの特性に応じた的確な施策を積極的に推進し、業容の拡大を目指すことで

営業収益 5,500百万円 (前期比 456百万円増)

営業利益 300百万円 (前期比 40百万円増)

を予定しております。

ゴルフ会員権の買取り消却益は増加を見込み、

経常利益 910百万円 (前期比 88百万円増)

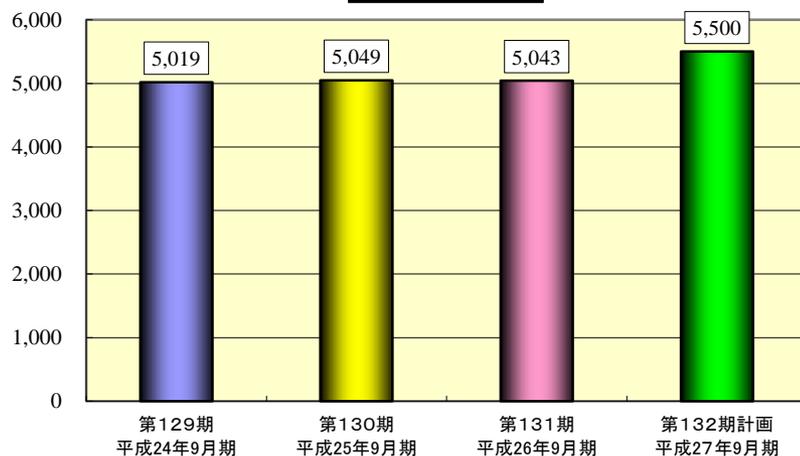
当期純利益 600百万円 (前期比 30百万円減)

となる見通しです。

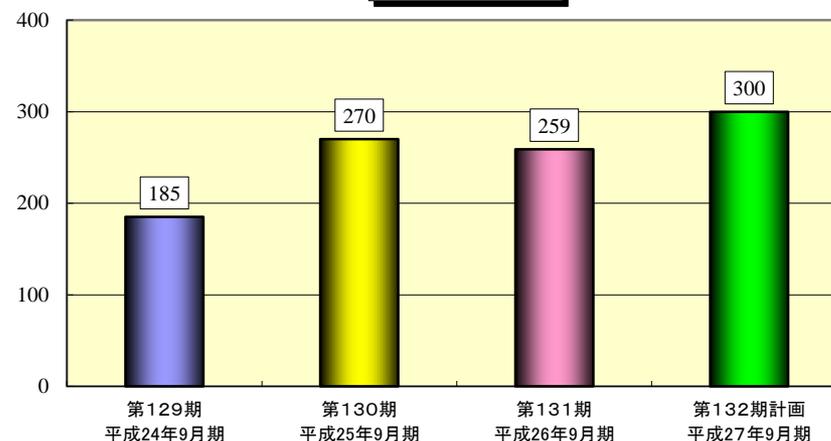
2-2 平成27年9月期計画(グラフ) (営業収益・営業利益・経常利益・当期純利益)

(単位:百万円)

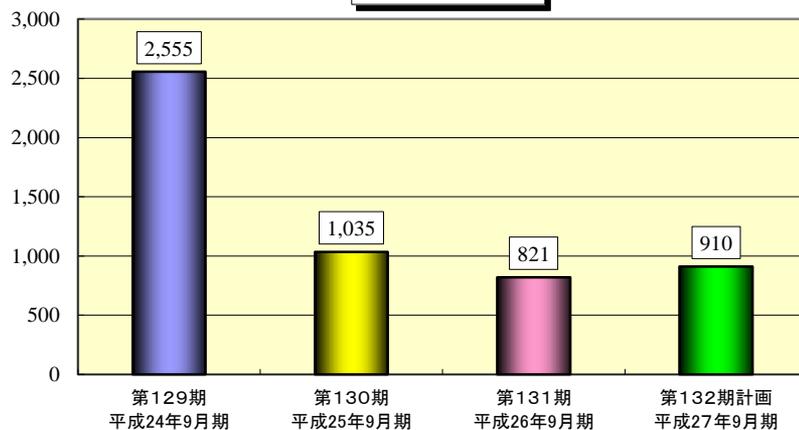
営業収益計画



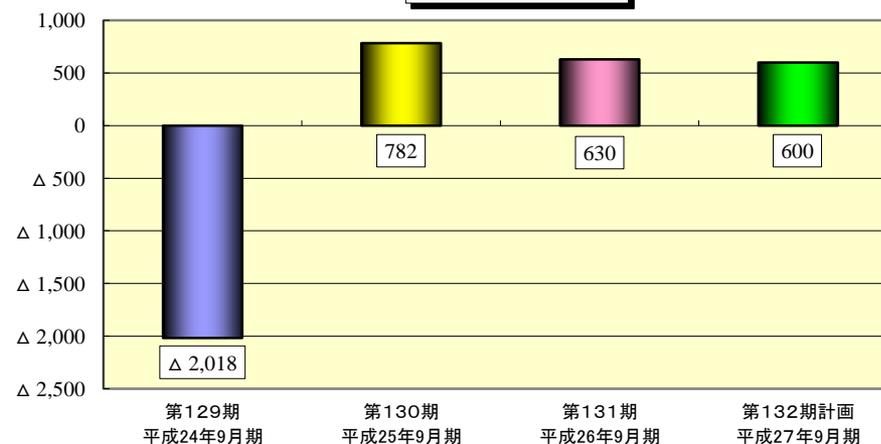
営業利益計画



経常利益計画



当期純利益計画



保険事業

お客様とのリレーション強化と生・損保併売によるコンサルティング・ソリューション営業の強化。

観光事業

施設の整備・拡充、各種イベント企画等により観光牧場としての魅力を高め、来場者数増加と牧場こだわり商品の開発。

不動産事業

計画的かつ適切な投資等によるテナントの皆様に満足頂けるビルグレードの維持・向上、競争力強化と営業強化による空室の防止。

ゴルフ事業

コースグレードの維持・向上並びに来場者数の増強に向けた各種イベントの企画など積極的な営業展開。

乳業事業

製品の安心・安全の訴求並びにお客様ニーズを捉えた商品開発による販売基盤強化と、生産・仕入・販売各段階の原価低減。



(ご参考) 主要な経営指標等(実績)の推移

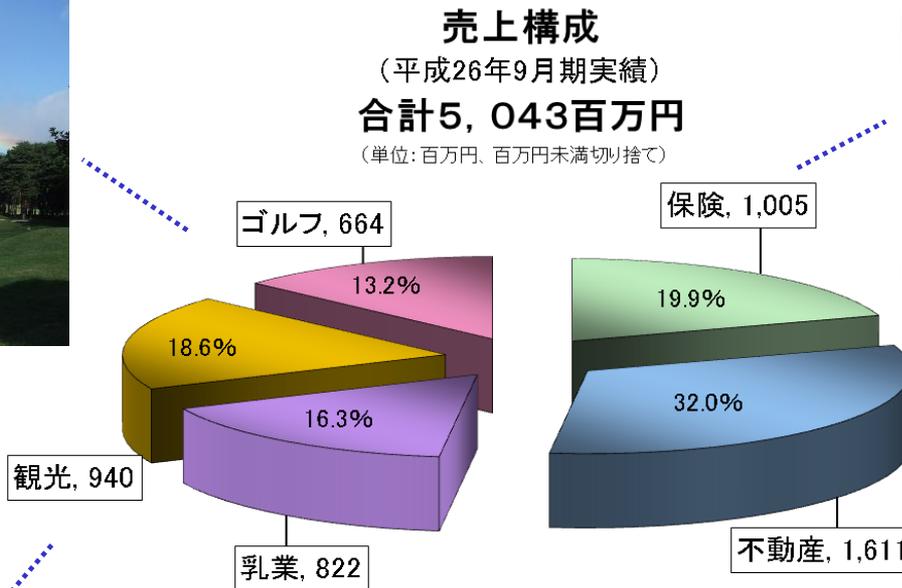
(単位:百万円)

	第127期 平成22年9月期	第128期 平成23年9月期	第129期 平成24年9月期	第130期 平成25年9月期	第131期 平成26年9月期
営業収益	5,554	4,990	5,019	5,049	5,043
営業利益	454	190	185	270	259
経常利益	804	407	2,555	1,035	821
当期純利益	503	248	△ 2,018	782	630
総資産額	24,418	24,045	20,444	18,802	18,794
内 現金及び預金	3,076	3,063	3,587	2,099	2,945
総負債額	17,424	16,872	15,380	12,965	12,402
内 預り保証金	14,529	14,274	11,587	10,550	9,790
内 有利子負債	1,850	1,750	1,651	1,553	1,455
純資産額	6,993	7,173	5,064	5,836	6,391
内 資本金	4,340	4,340	4,340	4,340	4,340
1株当たり純資産額	499.91円	512.80円	362.09円	417.47円	457.37円
自己資本比率	28.6%	29.8%	24.8%	31.0%	34.0%
従業員数(名)	156	157	152	143	142
(他平均臨時雇用者数)	(146)	(127)	(130)	(123)	(140)

(ご参考) 事業内容のご紹介



ホウライカントリー倶楽部
西那須野カントリー倶楽部の運営



損害保険代理店業務
生命保険募集業務



レジャー施設・レストランの運営
土産品・乳製品等の販売



乳製品(牛乳・アイスクリーム・
ヨーグルト)の製造・販売



賃貸ビルの運営

<お問い合わせ先>

ホウライ株式会社 総合企画部 IR担当まで

E-mail:ir@horai-kk.co.jp

IR専用ページ:<http://www.horai-kk.co.jp/ir>